

タブレットを活用した授業実践

2年C組道徳科

今回は土曜授業での実施です。本校では、学級担任だけでなく、全教員が道徳科の授業を行うことになっています。

この時間の2年C組は主幹教諭による道徳科の授業でした。

題材は「震災の中で 阪神・淡路大震災」。副読本にも写真が掲載されていますが、タブレットを液晶テレビにつないで、写真を拡大して見せ、学ぶ意欲につなげました。

阪神・淡路大震災を扱ったものですが、東日本大震災の状況が社会科公民的分野の教科書に掲載されているので、比較的記憶に新しい大震災の様子を想起させながらの授業を展開していました。



さらに、東日本大震災後に本校で行ったボランティアの写真も提示し、身近な問題としてとらえることで、ともに支え合うことの大切さと社会への奉仕を進んで実践しようとする気持ちを高める授業でした。

